



研究所だより



新緑が色を増し初夏を感じさせられる季節となりました。皆様方におかれましてはご多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。

中土佐町教育研究所は平成24年度の設置以来13年目がスタートしました。前号でもお知らせしましたが、令和6年度から研究所は中土佐町こどもセンターに移転設置となり、適応指導教室や育成センター職員と一室になり、児童生徒の基礎学力の定着に関する研究とともに児童生徒支援の取組にも取り組んでいきます。学校をはじめ、教育関係機関、保護者、地域住民の皆様と連携し、諸課題の解決に向けてともに取り組む研究機関としての役割を果たしていきたいと考えています。

本年度も中土佐町教育研究所の運営に関してご理解とご協力をよろしくお願い致します。

中土佐町教育研究所 所長 古谷 智史

目指す研究所像と本年度の取組

(1) めざす教育研究所像

- 基礎基本の定着を図るために中土佐検定に取り組む教育研究所
- 教育課題を共有し学校の課題解決に共に取り組む教育研究所
- 学校・保護者・地域に開かれた教育研究所

(2) 本年度の取組の重点

① 基礎学力定着に関する調査研究「小・中学校中土佐検定の取組」

- ・ 小学校算数検定、中学校数学・英語検定実施（年間3回）
- ・ 中学校漢字検定実施（年間2回）
- ・ 検定結果分析（まちがいランキング作成と活用）
- ・ 検定取組支援（加力指導・個別指導）
- ・ 各種学力調査結果と中土佐検定との関連分析
- ・ 数学・英語・漢字・算数・ことばのきまり、各テキストの修正

② 児童生徒の支援に関する調査研究

- ・ 不登校・不登校傾向の児童生徒への支援に関する調査・研究
- ・ ICT等を活用した不登校支援に関する調査・研究
- ・ 適応指導教室、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こどもセンターとの連携

③ 情報の収集・発信

- ・ 研究所だよりの発行と町広報誌での情報発信
- ・ 研究所間の交流、連絡協議会への参加
- ・ 研究授業への参加や学校訪問



中土佐検定

学習の基礎基本となる、読み・書き・計算の力をしっかり身につける方法の一つとして、中土佐町では町内すべての学校で「中土佐検定」を実施しています。「中土佐検定」は脳科学に基づいて行われます。テキストを活用して繰り返し学習することで、脳の前頭前野が鍛えられ、基礎的な学力がしっかり身につきます。子どもたちの夢や希望を実現させる手段の一つとして定着し、今年度で12年目になりました。

「中土佐検定」では、検定に合格することも大切ですが、それ以上に、テキストを活用して少しの時間でも毎日計算練習をしたり書いて覚えたりする学習を重視しています。繰り返しの取組が効果的であり脳の活性化につながると考えています。

中土佐検定を学校全体で組織的に取り組み、家庭での学習としても活用し、脳の活性化と学びの習慣化、基礎学力の定着に役立てていただきたいと考えています。

中土佐検定の概要

1 検定の実施予定日

	第1回	第2回	第3回
小学校（算数）	6月12日（水）	11月13日（水）	2月5日（水）
中学校（数・英）	6月20日（木）	11月14日（木）	2月6日（木）
中学校（漢字）	9月5日（木）	1月16日（木）	

※学校の実情に応じて実施日を一週間内で変更することができます。

2 受検級

該当学年の級を受検する。

3 検定の内容

テキストの内容から出題する。

4 検定の実施時間

小学校および中学校漢字は25分で実施する。また、中学校は50分の検定の時間を設定し、2教科実施する。なお、2教科を別々に実施する場合は、それぞれ25分で実施する。

5 検定当日の欠席児童生徒

検定実施日より、3日後までは本試験を受検できる。ただし、学級閉鎖などで欠席が長期にわたりそうな場合は、相談のうえ、実施する試験を決定する。

6 合格ラインと合格認定証の授与

100点満点で80点以上を合格とする。なお、合格者には教育委員会が合格認定証を授与する。

7 再試験・再々試験の実施

本試験で80点未満の児童生徒については、本試験実施日から3週間をめぐり再試験、再々試験を各学校で実施する。

8 受検免除や配慮者の児童生徒について

学校で判断し、検定1週間前までに教育研究所に連絡する。



9 採点

検定の採点は、教育研究所が行う。

10 採点結果の公表

この制度の趣旨から、採点結果は町全体のデータ（学年別平均点・受検者数・合格率等）として町広報誌等で公表する。学校別の結果は公表しない。

11 間違いの多い問題と誤答事例

学校が採点結果やデータを活用できるようにするため、検定終了後、間違いの多かった問題と誤答事例などをまとめ、「間違いランキング」として各学校に配付する。授業改善、補充指導等を行い、基礎学力の定着に活かす。

児童生徒支援の取組

本年度から、中土佐町こどもセンターに設置されたことに伴い、適応指導教室との連携のもと下記のような取組を進めます。

- ・適応指導教室と連携した学習サポート
- ・ICT機器を活用した支援の取組
- ・不登校等の実態把握・要因調査
- ・不登校未然防止のための取組
- ・町内小中学校との連携



テキストが新しくなりました！



研究所関係年間予定

本年度の研究所関係の会合は下記を予定しています。学校担当者の皆様には、各学校での組織的な取組を行う中で成果や課題等について話し合い、資料にまとめて下さるようお願いいたします。

月 日	内 容	備 考
5月24日	高知県教育研究所春季連絡協議会	
6月 3日	第1回中土佐町教育研究所運営委員会	
6月 5日	第1回高知県教育研究所中西部地区連絡協議会	土佐市
7月29日	第1回小学校中土佐検定担当者会 第1回中土佐検定英語科担当者会、数学科担当者会 第1回中学校中土佐検定担当者会	
10月	第2回中土佐検定教科担当者会	必要に応じて
11月29日	高知県教育研究所秋季連絡協議会	いの町
2月	第2回小中学校中土佐検定担当者会	
2月	第2回高知県教育研究所中西部地区連絡協議会	土佐市
3月	第2回教育研究所運営委員会	

輝く子どもたち

毎年、研究所として町内各学校の校内研修会・公開授業等において授業参観をさせていただいています。感謝を申し上げます。

本年度も各学校での子どもたちの頑張っている姿を参観させていただき、「研究所だより」で紹介していきたいと思っております。お手数をおかけしますが、公開授業、研究授業等を行う場合は研究所まで連絡をお願いいたします。

また、学校に対して中土佐検定に関する子どもたちへの支援活動を行っています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



本年度スタッフです。
よろしくお願いいたします。

所 長 古谷 智史 (左)
研究教諭 渡部 翔平 (右 新任)
支 援 員 西内 いち (中央)



研究所便り 令和6年度 第1号 発行 中土佐町教育研究所
〒789-1301 高知県高岡郡中土佐町久礼 6551-1
TEL 0889-52-2250 FAX 0889-52-2643 発行日 令和6年5月14日